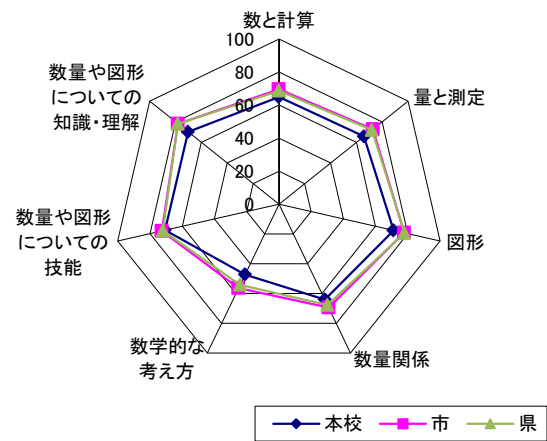


宇都宮市立清原東小学校第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	64.9	69.6	68.7
	量と測定	65.9	72.8	72.0
	図形	71.2	77.8	78.0
	数量関係	64.0	69.4	67.8
観点	数学的な考え方	47.3	56.3	54.2
	数量や図形についての技能	70.8	72.7	72.0
	数量や図形についての知識・理解	70.3	78.2	78.1



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●平均正答率は、市平均を下回っている。 ○同分母の真分数＋真分数＝真分数の計算、4位数－4位数＝4位数（波及的繰り下がりあり）の計算、3位数×1位数＝4位数の計算、小数のしくみを理解することの正答率は市平均よりも高い。 ●3位数×2位数＝5位数の計算、（ ）を用いて1つの式に表した3つの数の乗法について式の意味を場面と結び付けた説明を選ぶこと、余りを切り上げて処理する問題について判断しその理由を説明することの正答率が市平均よりも低い。	・基礎的な計算が十分には身につけていないので、定着が図れるよう、計算のしかたを復習しながら指導する。 ・文章題についても、求めるものは何か、どのような計算になるかを復習しながら練習問題に取り組みさせる。
量と測定	●平均正答率は、市平均を下回っている。 ○ある時刻から一定時間前の時刻を求めることの正答率は、市平均よりも高い。 ●時間の分と秒の単位の関係の理解、長さのkmとmの単位の関係の理解、はかりに示された重さの読み取り、身近にあるものの重さの推察の正答率が市平均よりも低い。	・時間、長さ、重さの単位を整理しながら復習し、練習問題に取り組みさせて定着を図る。
図形	●平均正答率は、市平均を下回っている。 ○正三角形を作図の正答率は市平均よりも高い。 ●円の直径について理解、球の半径と直径の関係の理解、二等辺三角形の定義の理解の正答率は、市平均よりも低い。	・具体的な活動を通して、図形の基礎的事項の理解（円や球の直径、三角形の作図など）の復習をし、練習問題に取り組みさせて定着を図る。
数量関係	●平均正答率は、市平均を下回っている。 ●わり算の文章問題を表した図を理解すること、□を使った文章問題（減法逆の加法の場面）を表した図を選ぶことの正答率が市平均よりも低い。 ○文章問題を解くために除法の式を立式しその式から正しい答えを求めること、□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶこと、棒グラフを読み取り提示された条件に該当する項目を示すことの正答率が市平均と同等である。	・文章問題から□を使った式を作ったり、□を使った式に合う文章問題を選んだりする練習問題に取り組みせ、□を使った式に慣れさせ、定着を図る。 ・文章問題を図にして理解する練習に取り組みせ、解き方の定着を図る。